

ふまのとう

秋田市指定有形文化財

「お延^{のぶ}の井戸」

たまみやじんじや くどくすいいどあと
瓊宮神社 功德水井戸跡

東口前に旧瓊宮神社の井戸(別名「お延の井戸」)跡がある。井戸水は江戸時代から「瓊宮功德水」と呼ばれ、広く信仰されていた。これまでは旧病院のスロープ脇に井戸水をくみ上げていたが、新病院建設に伴い、この場所に移設することとなった。

なお、昭和58年の病院建替の際に発見された井戸側は、江戸時代後期の築造と考えられており、梵字が刻まれた石を八角形に組んで積上げたもので、全国的にも珍しく、昭和60年に秋田市指定有形文化財となっている。

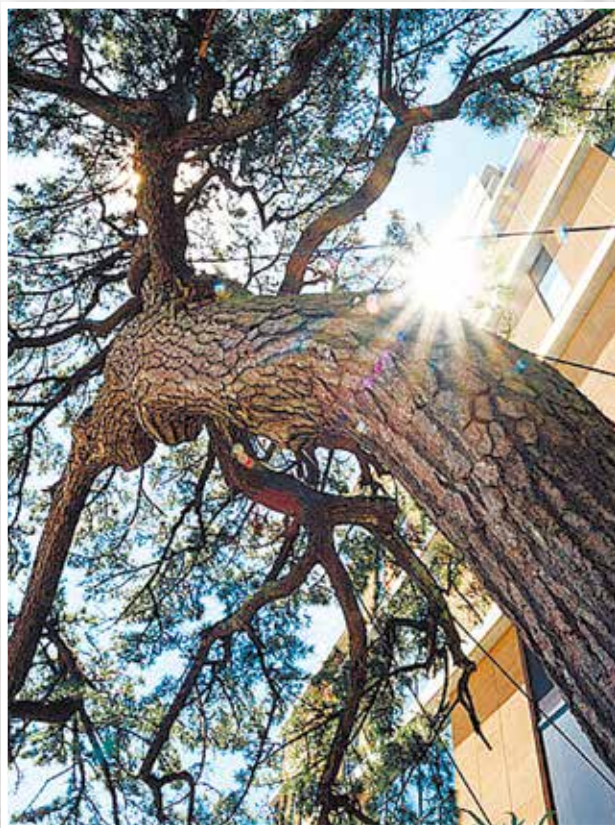
この井戸側は、現在、秋田市に保管されている。

令和4年9月設置 市立秋田総合病院



撮影:伊藤梅香

秋田市指定保存樹 「市立病院の松」



・指定番号 29 ・樹種:クロマツ ・指定年月日:昭和49年10月11日
撮影:伊藤梅香

安政六年(一八五九)のころ旧台所町(現千秋矢留町)にあった佐竹公の薬草畑が、そのころ川尻村箱岡といわれていたこの地に移され御薬園となった。以来、約百二十五種類にのぼる多種類の薬草がここでも栽培されていた。

佐竹藩御薬園跡
佐竹藩御薬園跡

宇宙 1984 (旧病院から移設されたステンドグラスについて)

西口風除室を彩る対のステンドグラスは、1984年(昭和59年)旧病院建設を記念して制作された作品である。

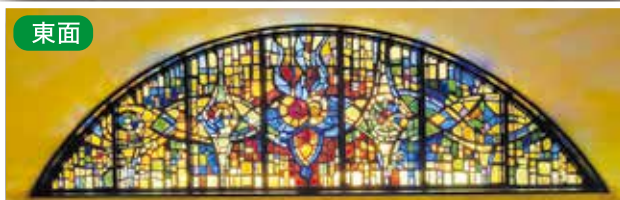
原画は高沢七郎氏で、ステンドグラスの巨匠 ガブリエル・ロワール氏がフランスの工房において「ダル・ヴェール」技法を用いて制作した。

「宇宙」と題された原画には、人間の生命の尊さと健康長寿の願いが込められており、西面の中央には世界的に医療・医術のシンボルマークとされるギリシャ神話に登場する名医「アスクレピオス」の持っていた蛇の巻き付いた杖が描かれている。

西面



東面



流涙症(りゅうるいしょう)とは？ ～涙があふれる原因と治療について～

眼科 科長 阿部 早苗



「最近、涙がこぼれやすい」「常に目がうるうるして不快」——そんなお悩みはありませんか？このような症状は「流涙症(りゅうるいしょう)」と呼ばれる状態です。特にご高齢の方に多く見られますが、年齢に関係なく起こることがあります。

◎涙はなぜ流れるのでしょうか？

涙は目の表面をうるおし、ゴミやホコリを洗い流して、目を健康に保つ大切な働きをしています。ふつう、涙は目頭にある「涙点(るいてん)」という小さな穴から「涙道(るいどう)」という管を通り、鼻へ流れていきます。しかし、この涙の通り道が詰まったり、細くなったりすると、涙がうまく流れずに目からあふれてしまいます。これが「流涙症」です。また、強い風や寒さによる刺激、アレルギー性結膜炎、ドライアイなど目の表面の病気によって涙がたくさん分泌されることでも、流涙症が起こります。



◎治療法について

原因によって治療法は異なります。

- ・目の乾燥や炎症が原因の場合
点眼薬で目の表面の乾燥や炎症を改善し、涙が過剰に分泌されるのを防ぎます。
- ・涙の通り道が詰まっている場合
涙道を広げる治療が必要です。涙道に細いシリコンチューブを挿入して、涙の流れをスムーズにする「チューブ留置術」を行っています。これまで術者の手の感覚だけでこの治療を行なっていましたが、今年から当院では「涙道内視鏡(るいどうないしきょう)」を導入しました。直径1mm以下の細い内視鏡を涙点から挿入し、モニターで涙道の中を直接確認しながら安全・確実に治療を行うことができます。この治療は局所麻酔で行うため、身体への負担も少なく、日帰りで受けていただけます。

「年齢のせいだから仕方ない」とあきらめていませんか？流涙症は、原因をきちんと調べて適切な治療を受けることで、日常生活の不快感が大きく改善します。涙は目にとって大切ですが、過剰にあふれることで生活の質(QOL)を下げてしまうこともあります。気になる症状がある方は、お気軽にご相談ください。



技師長就任あいさつ

放射線科技師長 工藤 和也



2025年4月より、放射線科技師長を拝命いたしました工藤です。

市立病院は2022年10月に新しい病院へ移転し、放射線科では最先端の機器を導入することができました。これらの装置の力を十分に引き出すためには、私たち技師一人ひとりの知識や技術がとても重要です。

また、放射線を使った検査や治療では、少なからず被ばくが伴います。そのため、患者さんや職員の皆さんに安心していただけるよう、日頃から安全への意識を大切にし、丁寧で確かな対応を心がけています。

さらに、医師の働き方改革にともなって、新たな役割にも前向きに取り組んでまいります。

これからも放射線の専門家として、スタッフとともに技術を磨きながら、当院の理念である「すべての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続けます」の実現に力を尽くしてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

リハビリテーション科技師長 笠井 千景



4月からリハビリテーション科技師長を拝命いたしました笠井です。

病院内における当科の役割としては、入院による身体能力の低下を防ぎ、ご自宅や回復期関連施設へ患者さんに良い状態で退院していただくことだと認識しています。また、市民の皆さまや近隣地域の方々に当院を選んでいただくため、リハビリテーションが選択肢の一つとしてあげられるよう、丁寧な技術提供を心がけていきたいと考えております。これまでも各診療科からの依頼により患者さんへの介入をしてまいりましたが、重症度や必要度に応じたリハビリテーションの提供ができる体制を進めていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

臨床検査科技師長 渡辺 智美



皆様、こんにちは。4月より臨床検査科技師長を務めております渡辺です。臨床検査技師はどんな仕事をする人？と思われる方も多いと思います。採血、心電図検査や超音波検査を担当しているスタッフは皆様とお会いする機会がありますのでご存じかもしれませんが、実はその他にも提出された採血・尿などの検体を専用の機械を使い検査を行っているスタッフがたくさんおります。その検査項目は900種類にもなります。皆様と直接お会いすることは出来なくとも、検体は皆様の身体の一部と考えておりますので、丁寧に大切に検査を行っております。臨床検査は適切な治療や体調管理には欠かせない事と考えております。正確な結果をご報告し、皆様の笑顔と健康管理の支えになるよう「縁の下の力持ち」を目指して努力いたしますのでよろしくお願いいたします。

栄養科技師長 伽羅谷 千加子



この度、栄養科技師長を拝命いたしました伽羅谷です。このような大役を任せていただくことになり重責を感じておりますが、皆さまに支えて頂きながら日々奮闘しております。私事ではございますが、実家は川尻で、山王幼稚園、川尻小学校、山王中学校と川尻の地で育ちました。この地で働き、地域貢献できることを大変嬉しく思っております。近年、若年女子を中心にやせや貧血が、傷病者や高齢者では低栄養障害が増加しつつあります。私たち栄養士はこのよう多様化する栄養問題に取り組み、患者さんの健康そして幸せを支える栄養を目指して質の高い栄養管理が提供できるよう努めていきたいと考えております。至らぬ点多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

令和7年度新規採用職員紹介

令和7年度は、医師12名、研修医8名、看護師7名、その他12名の計39名が当院のスタッフとして新たにスタートを切りました。患者さんの笑顔のために頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

看護師 佐藤 柚月



今年度より10階病棟に配属となりました。緊張の毎日ですが様々な知識や技術を先輩方が教えてくださるので、楽しく学ばせていただいております。今後は患者さんに寄り添い、笑顔に出来る看護師になれるよう頑張ります。休日はお寿司やラーメンなどを食べリラックスしています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

医事課 浅野 拓哉

今年度より、医事課入院係に配属となりました。まだ不慣れな所が多く、ご教示賜りながら日々精進しております。今後は、今まで培ってきた業務経験を生かし「病院の経営基盤の確立」と「地域医療への貢献」を念頭に入院業務を通じて、邁進したいと考えております。一刻も早く病院に貢献出来る様、頑張ってお参りますのでよろしくお願いいたします。

臨床工学技士 鎌田 雄大



臨床工学技士としての資格を取ってから神奈川県で8年間働き知識を蓄え、今年の4月から秋田に戻ってきました。主に透析業務を中心に働いてきました。市立病院で臨床工学技士は他にも心カテ・オペ室業務等様々な場面で活躍の機会があります。今まで触れる機会がなかった業務も多々あります。幅広い場面で活躍できる臨床工学技士を目指し日々勉強して市立病院の臨床工学技士として新たな戦力になれるように日々頑張っていきます。

歯科衛生士 茂木 美樹

地元秋田で働けることを嬉しく思います。まだまだ不慣れなところもございますが、先輩方からご指導いただき、少しでも早く仕事に慣れるよう努力してお参ります。そして、患者さんに寄り添いながら、口腔内の健康をサポートしていけるよう全力を尽くしてお参りますのでよろしくお願いいたします。

当院は令和7年4月1日に 「紹介受診重点医療機関」 として秋田県より公表されています。

当院は、令和7年4月1日付けで紹介患者の診療を重点的に行う「紹介受診重点医療機関」として、秋田県より公表されました。

「紹介受診重点医療機関」とは国の制度見直しにより新設されたもので、原則として、かかりつけ医からの紹介状を持って、より専門的な検査や治療を重点的に行う医療機関のことです。

このことにより、当院を初診で受診される際には、まずはかかりつけの医療機関を受診していただき、専門的な検査や治療が必要と判断された場合に、紹介状を持って受診いただきますようお願いいたします。

紹介状を持たずに来院された場合は、令和7年7月1日より通常の診療費とは別に新たな「選定療養費(特別の料金)」をご負担いただく場合があります。

詳しくは、当院ホームページを参照してください。
(<https://akita-city-hospital.jp/ambulatory/page-18690/>)



FLSチームの紹介

◆リハビリテーション科 理学療法士 柴田 和幸

FLSチームとは「骨折リエゾンサービス」のことで「Fracture Liaison Service」の頭文字を取った略語となります。骨折リエゾンサービスは多職種連携により、脆弱性骨折患者に対する「骨粗鬆症治療薬開始率」「治療継続率」を上げるとともに、二次骨折を防ぐ取り組みのことを指します。

脆弱性骨折とは、骨の量(骨密度)や質の低下により、軽い(立った位置からの)転倒や尻もちなどの軽微な力で骨折してしまうことです。

足や背骨の骨折では歩行や移動能力の低下が生じ、場合によっては寝たきりになってしまうこともあります。一度骨折してしまうと筋力や関節可動域の低下などからバランス機能も低下し、再度転倒して骨折をしてしまう(二次骨折)傾向が強くなります。

このような骨折の連鎖を絶つことを使命とし、FLSチームは入院時に骨粗鬆症治療薬の開始を、退院後の外来では治療継続と転倒予防に重点を置いて活動しています。

もちろん、初回の骨折を防ぐことも重要ではありますが、実際に骨折し入院してくる人が多いためFLSチームの取り組みは全国高齢化率No.1の秋田県では非常に重要です。患者さんの健康はもちろん、医療費の削減効果も期待できると言われています。



新屋透析泌尿器科クリニック

◆診療科目:泌尿器科(人工透析) 院長 松田 芳教

令和6年6月10日に秋田市新屋沖田町に「新屋透析泌尿器科クリニック」を開業いたしました、松田芳教と申します。2011年に秋田大学を卒業し県内各地で泌尿器科診療に従事し、2018年4月～2021年3月の3年間は市立秋田総合病院泌尿器科で医長として勤務しておりました。開業場所に新屋沖田町を選んだのは市立秋田総合病院で勤務する中で、新屋～下浜、岩城方面の泌尿器科、透析患者さんの処置をお願い出来る病院が無いことに気づいたためでした。

当院では泌尿器科診療と透析診療の二つを柱として行っており、新屋駅裏の通りに面した立地に40台の駐車場を用意して患者さんをお待ちしております。

泌尿器科に関しては尿検査、尿路超音波検査、膀胱鏡検査設備を院内に用意し、採血は外部機関に依頼することで診療を行っております。膀胱炎、前立腺炎などの尿路感染症診療、前立腺肥大症・過活動膀胱などの排尿症状に対する診療、前立腺癌・膀胱癌などの検査、治療後の定期経過観察を主におこなっております。男性癌罹患率第一位の前立腺癌については当院でPSA採血・超音波検査を行ったのち、精密検査が必要であれば市立秋田総合病院放射線科のご協力のもと、MRI検査を外注させて頂いております。

透析に関しては30床の透析ベッドと、災害時にも対応可能な自家発電・貯水設備を用意しております。昨今の高齢化で週3回自力での来院が困難な透析患者さんも増えており、透析送迎も行っております。送迎可能範囲や普通車への移乗が可能かなど条件もありますので、ご希望の方はお気軽にお問合せ下さい。

当院スタッフが診療を行うことで日々意識していることは、「安全」な医療を「安定」して提供し、「安心」して通院してもらうことです。医療を行っていると予測不可能な事が日々起こりますが、その中でも安全・安定・安心を心がけた診療を行ってまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
14:00～16:00	○	×	○	×	○	×
【休診日】日曜・祝日						

※透析には予め予約が必要です

職員採用への取組みについて

令和7年6月28日(土)に令和8年度新規職員採用試験(令和7年度中途採用一部含む)を行いました。
看護師・助産師・薬剤師・臨床検査技師・視能訓練士・事務職の計6職種募集を行い、多くのご応募をいただきました。
誠にありがとうございました。また、嘱託・パート職員等の募集も行っており、随時募集している職種については当院
ホームページに掲載しておりますので、ご興味がある方はご覧ください。



合同就職説明会での様子

当院は臨床研修病院として、研修医の受け入れにも力を入れております。病院見学も随時行っていますので、見学をご希望の方は当院ホームページのお問い合わせフォームまたはお電話にてお問い合わせください。(夜間救急の見学も可能)また、看護部をはじめとするその他医療職においても病院見学を承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。詳細については、当院のホームページをご覧ください。



(採用情報)



(看護部)

夕暮れ乳がん・子宮頸がん検診を実施しています

当院では「秋田市の乳がん・子宮頸がん検診」を実施していますが、お仕事などで日中の受付時間に来院できない方のために、夕方5時から「夕暮れ乳がん・子宮頸がん検診」も実施しています。

対象	秋田市の乳がん・子宮頸がん検診対象者の方 ※詳しくは、当院のホームページをご覧ください。
実施期間	7月～2月の第1・第3水曜日(毎月2回) ●7月2日・16日 ●8月6日・20日 ●9月3日・17日 ●10月1日・15日 ●11月5日・19日 ●12月3日・17日 ●1月7日・21日 ●2月4日・18日
受付時間	●乳がん検診17:00～17:30 ●子宮頸がん検診17:00～17:30
予約方法	検診希望日の前日までに電話で予約してください。(事前予約制) ●予約先 「健康管理センター」電話:0570-01-4171 ●時 間 13:30～15:30(土・日・祝日を除く) 詳しくはホームページへ掲載しておりますので、 右記QRコードを読み取りください。



(夕暮れ検診)

マイナ保険証をご利用ください

マイナンバーカードの
保険証利用の申込みは

医療機関・薬局の 受付でもOK!!

マイナンバーカードを医療機関・薬局にお持ちいただくだけで、
健康保険証として利用するための申込み手続きや、実際に利用いただくことが可能です！



顔認証付きカードリーダーにマイナンバーカードを置く

同意取得
(お薬情報など)
本人確認
(顔認証等)

保険証登録未
実施の場合次の画面へ



この画面からお申込み

登録完了!!

マイナンバー
カードが
保険証として
利用可能に！



※顔認証付きカードリーダーの機種によっては本人確認や同意取得の必要となるタイミングが、異なる場合があります。
※申込完了までに少々お時間をいただく場合がございます。
※転職・転居等により保険者が変わり手続きが終了していない場合には、マイナ保険証で受診いただけないことがあります。

利用

同意取得
(お薬情報など)

お手数ですが、
再度、同意取得
画面の操作をお願いします

健康保険証利用の
申込みのお問合せ先



マイナンバー総合
フリーダイヤル

0120-95-0178

5番を選択のうえ、音声ガイダンスにしたがってお進みください。

マイナンバー

受付時間(年末年始を除く)

平 日:9時30分～20時00分
土 日 祝:9時30分～17時30分

出典：厚生労働省 HP より

編集・発行／市立秋田総合病院 令和7年7月25日発行

〒010-0933 秋田県秋田市川元松丘町4番30号 ナビダイヤル:0570-01-4171・Fax:018-866-7026

E-mail:ro-homn@akita-city-hospital.jp <https://www.akita-city-hospital.jp/>



(ホームページ)